

Pool Coat[®]

プールコート REG. NO.790299

トップコート(上塗り製品概要)

プールコートスペシャルAUをはじめプールコートスペシャルF、プールコートスタンダードは、プール専用塗料「プールコート[®]」上塗材です。3品種それぞれの特性を活かしたプール内面のコーティングにより、清潔でカラフルなプールゾーンの演出に活躍しています。
〔文部科学省仕様に準拠〕

プールコートスペシャルF 2液型フッ素樹脂塗料

プールコートスペシャルFはダイキン工業(株)との共同開発により完成した、従来のフッ素樹脂塗料とは一味違う抜群の耐久性を有する常温硬化の2液型フッ素樹脂塗料です。塩素フリーの四フッ化エチレン(フライパンやアイロンに使用しているフッ素樹脂と同タイプ)を主要素としたフッ素樹脂をベースにしているため、耐候性はもちろん、耐薬品性、耐温水性など多くの特長を有しています。特にプール内面塗装のトップコートとして要求される耐殺菌剤(塩素剤)性と、汚染し難く、汚染しても簡単な洗浄で美しく復元する性能は比類がありません。

そのためメンテナンスが容易で塗り替えサイクルの延長と相俟って経費節減に貢献します。

さらに、多様な機能を活かし、過酷な条件に曝される重防食塗装のトップコートとして優れた性能を発揮します。

特長

- 1.フッ素含有率が高く、塩素原子を樹脂中に含まないため、従来品ではなし得なかった超耐候性が長期間持続します。
- 2.耐汚染性、汚染除去性に優れています。
- 3.耐水性はもちろん、耐温水性、耐酸性、耐アルカリ性、耐溶剤性等耐薬品性が抜群です。
- 4.他の樹脂では真似の出来ない耐殺菌剤性を有しています。
- 5.塗り替えサイクルが長く経費の節減に寄与します。
- 6.ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆(規制対象外)認定品です。(白塗工登録番号 D01051)

用途

- ホテル、スイミングスクール等超耐久性を要求されるプール内面の上塗り。
- スライダーなどプール付属設備の上塗り。

塗装方法

はけ塗り、ローラー塗り、スプレー塗り

希釈率

はけ、ローラー塗り 10~20%(質量比)
プールコートスペシャルAUシンナー

使用法

主剤と硬化剤を7:1(質量比)の割合で混合し、電動攪拌機で十分攪拌して下さい。

標準色

マリンブルー、パステルブルー、白、ライトスカイブルー(ライトスカイブルーは受注生産色)

- コースライン色
黒, DNo.807, DNo.808, DNo.145
- ※プールコート標準色見本帳をご参照下さい。
- ※プールコートスペシャルF中塗は白

容量

16kgセット (主剤 14kg, 硬化剤 2kg)
4kgセット (主剤 3.5kg, 硬化剤 0.5kg)

塗付量・塗装面積

0.13~0.15kg/m²/回
6.5~7.5m²/kg/回
この数値は比較的平滑な素地に塗装した場合であり、被塗物の形状、素地の状態、気温、希釈率、塗装方法などによって増減します。

可使時間と乾燥時間 (23℃)

可使時間	5時間	
乾燥時間	指触	10分
	硬化	5時間
塗装間隔	16時間以上 7日以内	

- 〈注意〉室内プールの塗装仕様について
- ①室内プールの場合は塗装中及び塗装後の換気は送排風機を用いて十分に行って下さい。それでも臭いが少し残る場合があります。
 - ②「自然採光のある室内プール」や「入泳者の極端に少ない室内プール」は、特に塩素殺菌剤による脱色や白亜化が起こりやすいため、プールコートスペシャルFクリヤー仕上げとなります。
詳細は最寄りの当社各支店営業所へお問い合わせ下さい。

Pool Coat[®]

REG. NO.790299

プールコートスペシャルF 2液型フッ素樹脂塗料

標準塗装仕様

●ステンレスプール塗替えの場合（施工システム SUS-202）

工 程	品 名	シンナー名 希釈率（質量%）	塗回数	塗付量 kg/m ² /回	塗装間隔 （23℃）
素地調整	水洗後、旧塗膜のふくれや不安定な塗膜はディスクサンダーなどの動力工具を使用して入念に除去し、素地まで出します。同時に活膜部も全面もれなくディスクサンダーなどで粗面にします。シンナー拭きを行います。				
下 塗	プールコートスペシャル 塗替用プライマー	プールコート スペシャルシンナー 5~15	1	0.12~0.14	16時間以上 7日以内
中 塗	プールコート スペシャルF中塗	// 10~20	1	0.14~0.16	//
上 塗	プールコート スペシャルF	プールコート スペシャルAUシンナー 10~20	2	0.13~0.15	//
コースライン	//	// 5~10	1~2	0.13~0.15	-

※塗装後注水までの最低養生日数 気温 10℃ 10日、 20℃ 7日、 30℃ 5日

※室内プールは、クリヤー仕上げとなります。

防滑（ノンスリップ）工法

防滑（ノンスリップ）仕上げの場合は、中塗りまたは上塗り1回目塗装後、直ちに6~7号珪砂を散布（0.1~0.2kg/m²）し、乾燥後余分の砂を除去してさらに上塗り（1~2回）を塗装します。

※水中歩行用には軽防滑の「FB仕上げ」をお勧めします。

施工上の注意

- 1.水洗は高圧水洗またはデッキブラシなどで素地に付着した水溶物、汚染物を十分に洗い流して下さい。
- 2.旧塗膜の活膜表面はディスクサンダーに#40~80のペーパーを取り付けて、十分に目荒しして下さい。また旧塗膜の活膜表面のシンナー拭きはウエス又はモップにラッカーシンナーもしくはスペシャルシンナーを付け、塗膜を入念に拭き油汚れ（煤煙、人からの油など）を除去します。ウエス等が汚れたら直ちに交換して下さい。これらが不十分ですと密着不良による膨れや剥離の原因となります。（素地表面が出た所はディスクサンダーにステンレス用ペーパー（NCA A-24 N-10WB）を取り付けて入念に目荒しして下さい。粗面になっているか時々手で確認し、傷が付かなくなれば速やかにペーパーを取り替えて下さい。）
- 3.下塗り塗料はフレック顔料が入っていますので、表面が多少ざらざらした仕上げになります。ローラー塗りの場合は時々ローラーで缶底を攪拌しローラーネット等でよくしごきながら塗装して下さい。
- 4.中塗りと上塗りの塗装間隔は厳守してください。塗装間隔が開くと上塗りの付着性が低下します。規定以上に塗装間隔が開いた場合には、塗装前に全面をシンナー拭きして下さい。
- 5.各塗装前は結露や夜露、霜などにより表面が濡れていないかチェックし、濡れている時は十分乾燥させてから塗装を始めて下さい。又水分により塗膜が白化した

- 場合は、シンナー拭きや研磨により白化部分を除去して下さい。
- 6.塗装面に砂や異物を巻き込みますと突起となり、プール使用時に足の裏等を怪我する場合があります。砂や異物の巻き込みに注意し、最終塗装時には事前に全面をチェックして、サンドペーパーやスクレイパーなどで突起物を除去してから丁寧に塗装して下さい。
- 7.最終塗装の際、新しいローラーは使用しないで下さい。毛が抜けて突起の原因となります。止むを得ず新しいローラーを使用する場合は、事前にガムテープを使って抜けるだけの毛を抜き取ってから使用して下さい（毛の抜け難いローラーも市販されています）。
- 8.屋内プールを塗装する場合は送風器を設置し、施工中・施工後にプール槽内の換気を十分に行なって下さい。
- 9.塗装後注水までの養生日数が不足しますと塗膜の膨れや剥離並びに早期チョーキングや退色の原因となりますので最低養生日数は厳守して下さい。
- 10.下記のような場合、原則として塗装は避けて下さい。
（イ）気温5℃以下の時や、湿度が非常に高い時。
（ロ）降雪雨時、あるいは塗料の乾燥する前にその恐れのある時。
（ハ）強風下、塵埃の多い時。
（ニ）炎天下、素材表面の温度が高く、塗膜に泡を生じる恐れのある時。

Pool Coat®

REG. NO.790299

プールコートスペシャルAU アクリルウレタン樹脂塗料

プールコートスペシャルAU アクリルウレタン樹脂塗料

プールコートスペシャルAUは、アクリルウレタン樹脂系の上塗り材です。
速乾性、低温硬化性、耐候性などにすぐれた標準的上塗り材です。

特長

- 1.速乾性で平滑な美しい塗面が得られます。
- 2.耐退色性に優れ長期にわたって光沢が低下しません。
- 3.耐水性、耐殺菌剤性に優れています。
- 4.強靱で損傷を受け難い塗膜を形成します。
- 5.乾燥塗膜は上水に対して有害物の溶出がありません。
- 6.ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外) 認定品です。(白塗工登録番号 D01047)

用途

- モルタルプール、鋼板プール、アルミプール、ステンレスプール、FRPプールなどの上塗り。
- スライダーなどプール付属設備の上塗り。

塗装方法

はけ塗り、ローラー塗り、スプレー塗り

希釈率

はけ、ローラー塗り 5~15% (質量比)
プールコートスペシャルAUシンナー

使用法

主剤と硬化剤を4:1(質量比)の割合で混合し、電動攪拌機で十分攪拌して下さい。

※プールコートスペシャルFとは全く異質の塗料ですので、主剤、硬化剤の混合使用はできません。

試験成績表

項目	結果	試験方法
鏡面光沢度	90	JIS K 5600-4-7 60度
耐屈曲性	φ3mm 合格	JIS K 5600-5-1 プリキ板
耐カップング性	6mm 合格	JIS K 5600-5-2
耐おもり落下性	30cm 合格	JIS K 5600-5-3 デュボン式 500g
鉛筆引っかき値	2H	JIS K 5600-5-4
耐水性	異常なし	2か年浸漬
耐温水性	異常なし	40℃温水 6か月浸漬
耐塩水性(温水)	異常なし	5%NaCl 40℃ 6か月浸漬
促進耐候性	光沢保持率 85%以上	S-WOM 1000時間

※試験成績表の結果は実測値であり、保証値ではありません。

標準色

マリンブルー、パステルブルー、白、ライトスカイブルー (ライトスカイブルーは受注生産色)

- コースライン色
黒, DNo.807, DNo.808, DNo.145
- ※プールコート標準色見本帳をご参照下さい。

容量

16kgセット	(主剤 12.8kg, 硬化剤 3.2kg)
4kgセット	(主剤 3.2kg, 硬化剤 0.8kg)
1kgセット	(主剤 0.8kg, 硬化剤 0.2kg)

塗付量・塗装面積

0.13~0.15kg/m²/回
6.5~7.5m²/kg/回

この数値は比較的平滑な素地に塗装した場合であって被塗物の形状、素地の状態、気温、希釈率、塗装方法などによって増減します。

可使時間と乾燥時間 (23℃)

可使時間	5時間	
乾燥時間	指触	10分
	硬化	4時間
塗装間隔	16時間以上 7日以内	

〈注意〉室内プールの場合

- ①塗装中及び塗装後の換気は送排風機を用いて十分に行って下さい。それでも臭いが少し残る場合があります。
- ②水中歩行用には軽防滑の「FB仕上げ」をお勧めします。
- ③室内プールは、プールコートスペシャルAUクリアー仕上げとなります。
詳細は最寄りの当社各支店営業所へお問い合わせ下さい。

Pool Coat®

プールコート

REG. NO.790299

EXCLUSIVE USE FOR SWIMMING POOL WATER, WEATHERING AND ALKALI RESISTANCE.



プールコートスタンダード アクリル樹脂塗料

プールコートスタンダードは、アクリル樹脂系の1液型タイプですので、作業が容易でスピーディに仕上げる事ができます。同じ塗料の塗り替えなどに使用します。

特長

1. 塗装時、溶剤の刺激臭が少なく、はけさばきも良好です。
2. 藻類、水垢等の汚染物が洗浄によって容易に取り除けます。
3. 乾燥塗膜は上水に対して有害物の溶解がありません。
4. モルタルプールの簡易塗装材としてご使用できます。
5. ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外) 認定品です。(日塗工登録番号 D01068)
6. 文部科学省「学校環境衛生の基準」で指摘されている6物質「ホルムアルデヒド」「トルエン」「キシレン」「パラジクロロベンゼン」「スチレン」「エチルベンゼン」について基準値に適合します。(標準的な塗装の場合)

用途

- モルタルプール
※新しく、平滑で緻密なモルタルプールの場合、膨れることがありますので、他の施工システムで塗装して下さい。

塗装方法

はけ塗り、ローラー塗り

希釈率

70~100% (質量比)
プールコートシンナー

クラック補修

クラックはUカット後エポパテ速乾型N等で埋め戻した後、直ちに7号硅砂を押しつけて補修して下さい。

標準色

マリンブルー、パステルブルー、白、ライトスカイブルー (ライトスカイブルーは受注生産色)
※プールコート標準色見本帳をご参照下さい。

容量

16kg、4kg、1kg

塗付量・塗装面積

0.08~0.09kg/m²/回

11.0~12.5m²/kg/回

この数値は比較的平滑な素地に塗装した場合であり、被塗物の形状、素地の状態、気温、希釈率、塗装方法などによって増減します。

通常2回塗りです。ローラーむらができる場合がありますが厚塗りは避けて下さい。

乾燥時間

(23℃)

乾燥時間	1.5時間
塗装間隔	5時間以上

〈注意〉

塗膜を強くこすりますと塗膜の色が水着などに付着する場合がありますので、プールサイドやオーバーフローなど直接腰をおろす場所への濃色のご使用は避けて下さい。また、日焼け止めなどにより塗膜が軟化する場合がありますのでご注意ください。

塗装についての詳細はプールコート施工ガイドをご覧ください。



本社	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06(6308)6288 FAX.06(6308)3618
東京支店	〒135-0031	東京都江東区佐賀1丁目18番8号	TEL.03(3642)8431 FAX.03(3643)5560
名古屋支店	〒452-0962	愛知県清須市春日流77番地1	TEL.052(409)8711 FAX.052(409)8716
大阪支店	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512
福岡支店	〒812-0051	福岡市東区箱崎ふ頭5丁目8番18号	TEL.092(641)2025 FAX.092(641)4022
札幌営業所	〒061-3244	石狩市新港南3丁目704番地8	TEL.0133(76)6177 FAX.0133(76)6178
千葉営業所	〒270-1403	千葉県白井市河原子木戸場364番地13	TEL.047(492)1901 FAX.047(492)1903
神奈川営業所	〒252-0244	神奈川県相模原市中央区田名2507番地10	TEL.042(764)4835 FAX.042(764)4836
滋賀営業所	〒524-0051	滋賀県守山市三宅町561番地	TEL.077(583)2234 FAX.077(583)3964
姫路営業所	〒670-0073	兵庫県姫路市御立中5丁目12番22号	TEL.079(299)5959 FAX.079(299)5960
広島営業所	〒733-0833	広島市西区商工センター4丁目5番15号	TEL.082(277)6464 FAX.082(277)6461

本社工場	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512
滋賀工場	〒524-0051	滋賀県守山市三宅町561番地	TEL.077(583)2234 FAX.077(583)3964

ホームページアドレス <https://www.daido-toryo.co.jp>



製品の規格及び仕様は改良等のため予告なく変更する場合があります。